

第 64 回岡山市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日 時：令和 5 年 1 月 27 日（金） 14 時 30 分～15 時
- 2 場 所：本庁 3 階 第三会議室
- 3 出席者：資料席次表参照
- 4 議事概要

[市長]

これから第 64 回となる本部会議を開催する。

岡山市の本日の新規感染者は 459 人。感染者数は年始をピークとして減少傾向にあるが、まだ数百人規模の新規感染が継続して発生している。インフルエンザの流行も始まっており、依然として医療体制がひっ迫している状況。

本日は、今後の対応について協議を行いたい。まずは各局室から説明をお願いする。

(1) 新型コロナウイルス感染状況等について【保健福祉局】

[感染症対策担当局長]

・感染状況の分析

多くの感染者が報告されているが、感染者数は減少傾向である。ただ、医療ひっ迫解消の状況には至っていない。

1 週間平均の感染者数は直近 548.9 人まで減少。感染者は 1 月中旬以降の減少が見て取れる。

・1 週間毎の感染者の年代の比較

直近 1 週間では全年代で人数が減少しているが、10 代未満の割合が高くなってきている。20 代の割合は減少している状況で、岡山県内いずれの保健所でも同様の傾向。

・クラスターの発生状況

岡山市保健所がクラスターとして確認したものの統計。件数は減少しているが、高齢者施設、医療機関でのクラスターがまだ継続している。

・医療機関からの受診時のお願い

年末年始において感染者数が多かったことから、市内の医療機関の現状、感染を防ぐために日常気を付けてほしいことなど、医療機関からの受診時のお願いについて、岡山市医師会の会長から話を聞いた。

年明け以降、発熱外来が予約でいっぱいになり、受診をお断りする状況が続いていたが、現状は落ち着きつつある。しかし今後も、変異株による感染者の再増加への懸念や、インフルエンザ流行期でもあることから、引き続き注意

が必要とのこと。

インフルエンザも含め、日常の感染防止対策が必要となっており、これまでもお知らせしてきているが、うがい、手洗い、換気に注意をお願いしたい、特に手洗い、換気が重要とのコメントをいただいた。

医療機関受診の際には、必ず、事前に電話で受診方法や受診時間を確認していただきたいとのことであった。

医療機関には発熱患者だけでなく様々な疾患の患者がいるため、ぜひご協力をお願いしたい。

・のどの痛みや発熱などの症状が出た場合

年未年始にかけて、市民の皆様から、「発熱などの症状があっても受診できない」、「コロナ陽性になったがどのようにすればよいのか」といった声を聞いた。

現在、感染者数は減少傾向であるが、医療のひっ迫はまだ解消されていないため、速やかに受診できない場合の対応を改めてお示しする。

高齢者など重症化リスクの高い方、小学生以下のお子さんについては、事前に連絡のうえ医療機関を受診していただきたい。医療機関がもしわからなければ、QRコードから確認していただくか、受診相談センターに問い合わせしていただきたい。

それ以外の重症化リスクの低い方は、速やかに医療機関を受診できない場合に備えて、事前に検査キット、解熱剤等の購入をお願いしたい。症状が出たら自らキットで検査をし、陽性の場合、岡山県陽性者診断センター及び保健所に登録していただき、自宅で療養をしていただきたい。

陰性の方、症状が重く不安な方は、受診相談センターや医療機関に相談をしていただきたい。医療機関の受診はできる限り平日・日中をお願いしたい。

・コロナ後遺症について

感染者の増加に伴い、後遺症に悩む方が増えていると聞いている。

岡山大学病院のコロナ・アフターケア外来のまとめによると、ほとんどの方は時間経過とともに症状も改善されるとのことだが、後遺症についてはまだまだ不明な点が多いと聞いている。

様々な症状があり、オミクロン株では、倦怠感、頭痛、睡眠障害を訴える方の割合が増加している状況。

症状が長引く方は、ひとりで悩まず、早めにかかりつけ医や身近な医療機関に相談していただきたい。

後遺症については、現時点では確立された治療法がないため、症状に応じた対症療法が基本となっている。1 か月以上症状が改善しない場合は、かかりつけ医からの紹介または予約等が必要となるが、岡山大学病院のコロナ・ア

フターケア外来の受診も可能となっている。

・オミクロン株対応ワクチンの接種の現状について

1月24日現在の対全人口比の進捗率が35.7%。中でも65歳以上の接種率が63.9%に対し、40歳以下の接種率は23.2%と低調な状況。40歳以下でも重症化することもあるし、後遺症が長引くこともある。まずは感染しないことがいちばん重要なので、若い世代でも積極的な接種をお願いしたい。

・オミクロン株対応ワクチンの効果と安全性について

オミクロン株対応ワクチンは、従来の1価ワクチンを上回る重症化予防、感染・発病予防効果に加えて、今後の変異株にも対応する幅広い有効性が期待されている。

また、高齢者施設等では、依然、集団感染が多い状況。保健所としては、重症化する方は、オミクロン株対応ワクチン未接種の方が多く見ているので、高齢者の方はぜひ早期の接種をお願いしたい。

オミクロン株対応ワクチン接種前に感染した方は、治療内容や感染からの期間にかかわらず、体調が回復すればワクチン接種は可能なので、ぜひ前向きに接種を検討いただきたい。

岡山大学がモデルナ社製2価ワクチン追加接種の4回目接種後の副反応について調査している。3回目接種後の副反応と比較して、局所反応、全身反応ともに減少したとのこと。インターネットにも掲載されているので、副反応が気になる方は参考としていただきたい。

・令和4年度の接種場所について

オミクロン株対応ワクチンを希望する方が接種できるだけのワクチンは確保している。引き続き、約400箇所の市内医療機関と市内中心部の集団接種会場で接種をお願いする。

個別医療機関においてはどちらの医療機関でも予約に空きがあるので、市民の皆さまは、自宅又は職場の近くでの接種が可能。

集団接種会場は2月末までの予定で、イオンモール岡山（1月30日～2月7日）、クレド岡山（2月11日～2月25日）で実施する。どちらの会場も開設時間は13時から18時まで。イオンモール岡山は既に予約可能であるが、クレド岡山は1月31日に予約開始する予定。なお、両会場とも予約なしでも接種できる。

ワクチン接種は、国において4月以降も継続する方針が示されているので、市としても必要な準備を行っている。

幸い、感染状況は改善しているところだが、オミクロン株対応ワクチン接種

がまだの方は早めの接種をお願いしたい。

(2) 市主催行事等の開催制限等について【危機管理室】

[危機管理監]

国では本日、新型コロナウイルス感染症対策本部を開き、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを 2 類相当から 5 類相当へ引き下げることを正式に決定するとともに基本的対処方針の改訂が行われると聞いている。

岡山市では市主催行事等の開催制限を始め、国の意思決定と整合が必要な事柄などについて、これから見直しを行う。具体的内容が決まり次第、皆様に情報提供を行う。

(3) その他

[市長]

先程の感染症対策担当局長の説明の中で、後遺症に悩む方が増えているという表現があった。これは単純に感染者数が多くなったことに伴って後遺症に悩む方が増えているということなのか、割合的に増えているということも含めてのことなのか。

[感染症対策担当局長]

保健所では全体数の把握はできていないが、割合ではなく、感染者数の母数が多いので、後遺症を訴える方も増加しているという印象を持っている。

[保健所長]

諸外国の報告では、発病した患者における後遺症の発生頻度は、オミクロン株になってからはむしろ減少しているということになっているが、この 1 年間のオミクロン株による患者は 17 万人程になるのに対し、その前のデルタ株までの感染者は 1 万人にも達しない数千人ほどなので、たとえ患者に占める後遺症を有する方の割合が下がってきたとしても、後遺症で何らかの症状を訴える患者の数が激増しているのが現状。

[市長]

保健福祉局長、クラスターが高齢者施設で出ているが、その対応についてコメントを。

[保健福祉局長]

高齢者施設はクラスターが継続しているが、その都度、報告とともに市の担当課からは状況確認し、必要物資は送っている。また職員体制を把握しながら必要に応じて応援体制をとっている。必要な助言にも赴いている。

[市長]

学校について何かあるか。

[教育次長]

特段、増えているような状況ではない。

5 本部長まとめ

前回の会議から約3か月ぶりの開催である。今回の本部会議開催の趣旨であるが、1 つには、取り扱いが変わって65歳未満の方が必ずしも登録しない対応になった、そういう大きな制度変更は理解していただいたとしても、実際に感染したときに自分でどのように対処すればいいのかわからないという声が結構あったので、整理をしたということである

のどの痛みや発熱などの症状が出た場合には、重症化リスクの高い、高齢者や基礎疾患をお持ちの方、妊娠されている方、小学生以下のお子さんは、かかりつけの医療機関に連絡のうえ、受診していただきたい。

それ以外の方は、ご自分で購入した抗原検査キットで検査をし、陽性の場合には、岡山県陽性者診断センターと保健所への登録をお願いする。

なお、症状が重い場合には、医療機関に連絡のうえ、受診していただきたい。また、陰性の場合でも、症状が重い場合や、不安な場合には、医療機関又は、受診相談センターにご相談していただきたい。

市民の皆様には、あらためて基本的な感染防止対策を徹底いただくとともに、抗原検査キットと解熱鎮痛剤の準備をお願いする。

また、医療機関を受診する場合には、できる限り平日・日中をお願いする。

この季節は、救急医療がひっ迫する時期であることから、適切な救急車利用、救急外来の受診をお願いする。

感染者の増加に伴い、倦怠感、頭痛、睡眠障害などの後遺症に悩む方も増えてきている。ほとんどの方は、時間経過とともに症状が改善されるとのことだが、後遺症についてはいまだ不明な点が多い。症状が長引く方は、かかりつけ医や身近な医療機関に相談していただきたい。

長期間改善しない場合は、かかりつけ医からの照会・予約が必要となるが、岡山大学病院のコロナ・アフターケア外来の受診も可能である。

ワクチン接種についてであるが、感染により、重症化リスクの高い高齢者だけでなく、40歳代以下でも重症化することがあり、また、感染の後遺症が長引くこともあることから、ワクチン接種は重要である。

コロナ感染後、治療内容や感染からの期間にかかわらず、体調が回復すればワクチン接種は可能なので、前向きに接種をお願いしたい。

本日の政府のコロナ本部会議において、新型コロナウイルスの法律上の扱いを、現在

の「2 類相当」から、5 月 8 日にインフルエンザと同じ「5 類」に引き下げることが、正式決定されるときいている。

岡山市は、5 類への移行後も、市民の健康、不安に寄り添ってサポートしていくことが必要と考えている。

現時点では詳細を申し上げる段階ではないが、市民の不安をできるだけ和らげる必要があると考えており、受診相談窓口やワクチン接種を継続していくなど考えていきたいと思っている。保健所でも考え方を適宜整理してもらいたい。

その考え方が整理されれば、本部会議を開くなり、また別途、広報連絡を行うなりして情報発信していきたい。

第64回岡山市新型コロナウイルス感染症対策本部会議

日 時：令和5年1月27日（金）

14時30分～15時

場 所：本庁3階 第三会議室

次 第

1 開 会

2 議 題

（1）現時点における対応状況等について担当局から報告

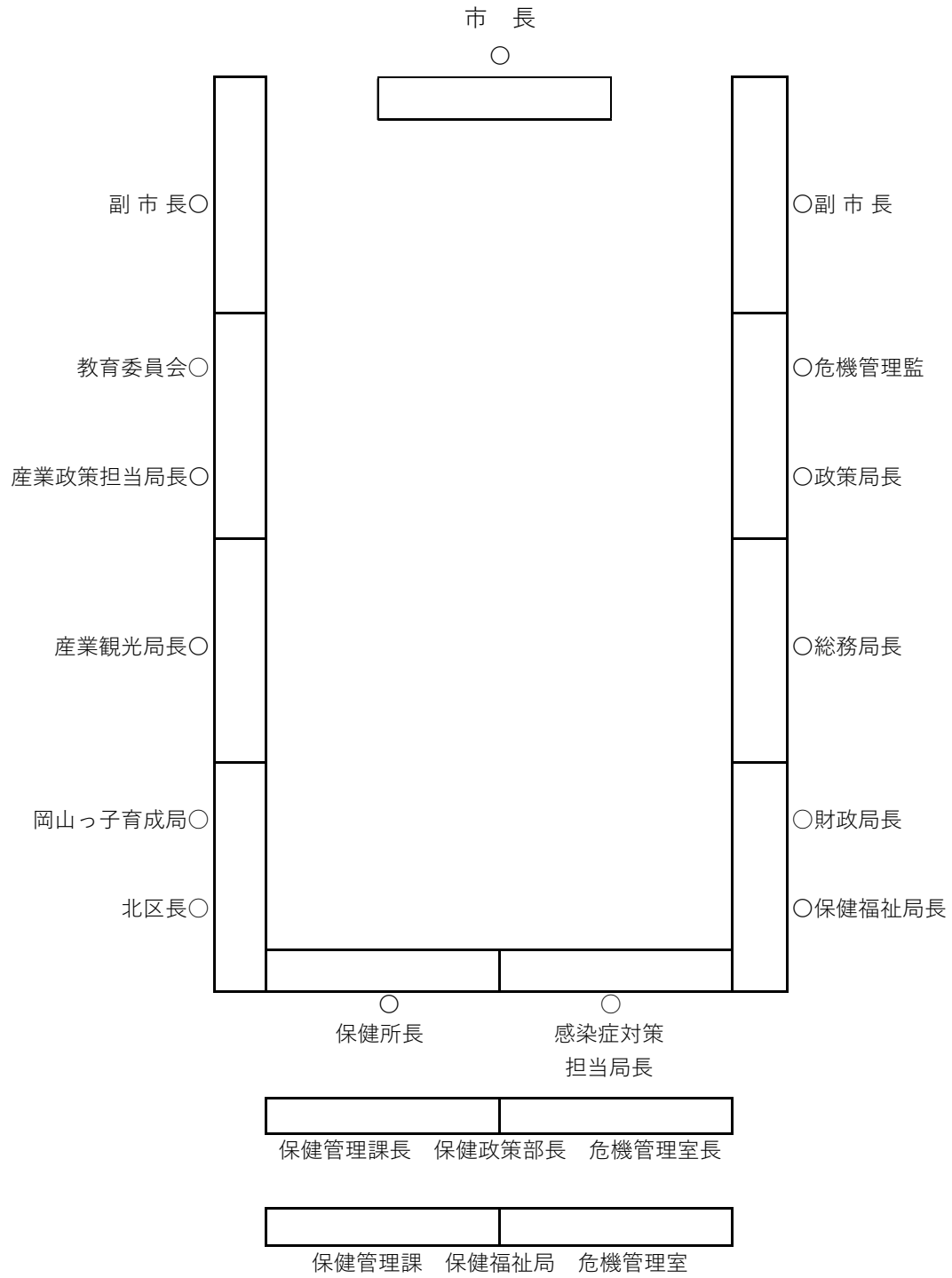
① 保健福祉局

② 危機管理室

（2）その他

3 閉 会

第64回 岡山市新型コロナウイルス感染症対策本部会議
配席図（R5.1.27）



（報 道）

【岡山市】感染状況の分析 (令和5年1月22日時点)

令和5年1月27日
第64回新型コロナウイルス感染症対策本部会議資料局

区分	過去1週間合計 (月曜日～日曜日)	前回の数値 (1月15日時点)	現在の数値 (1月22日時点)	前回の比較
感染状況	①新規陽性者数 (人口10万人当たり)	7,329人 (1,047.0人)	5,071人 (724.4人)	↓
	②検査数 (陽性率)	10,333件 (70.9%)	7,985件 (63.5%)	↓

総括コメント

警戒レベル



感染は減少傾向だが引き続き警戒が必要

陽性者は人口10万人当たり724.4人と減少。高齢の感染者も減少しているが、引き続き、医療機関や高齢者施設等でクラスターが発生している。

季節性インフルエンザも流行しており、医療逼迫の状況は続いている。

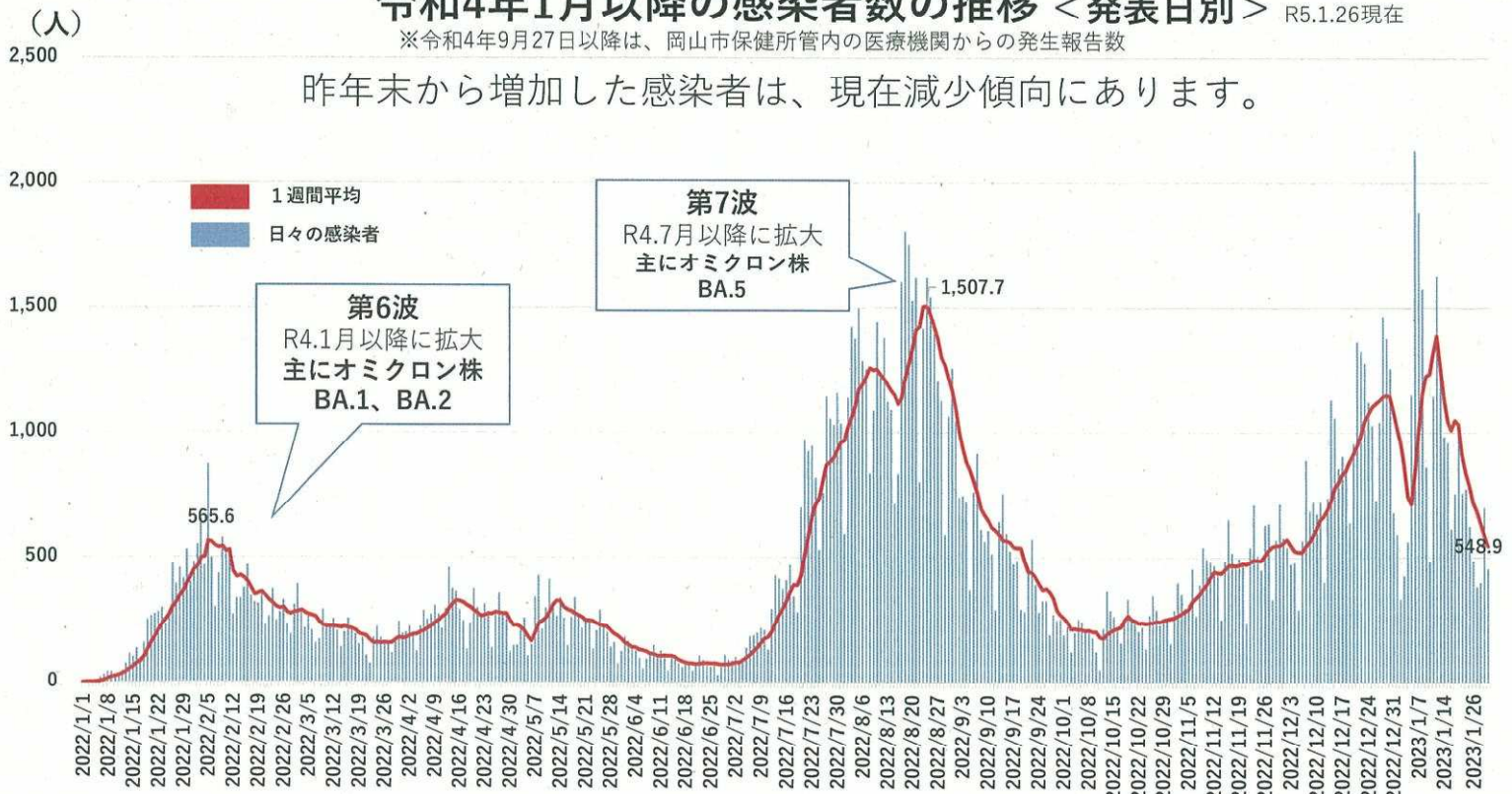
感染対策継続、オミクロン株対応ワクチン接種や、高齢者等重症化リスクの高い方や医療を守る行動が必要。

令和4年1月以降の感染者数の推移 <発表日別>

R5.1.26現在

※令和4年9月27日以降は、岡山市保健所管内の医療機関からの発生報告数

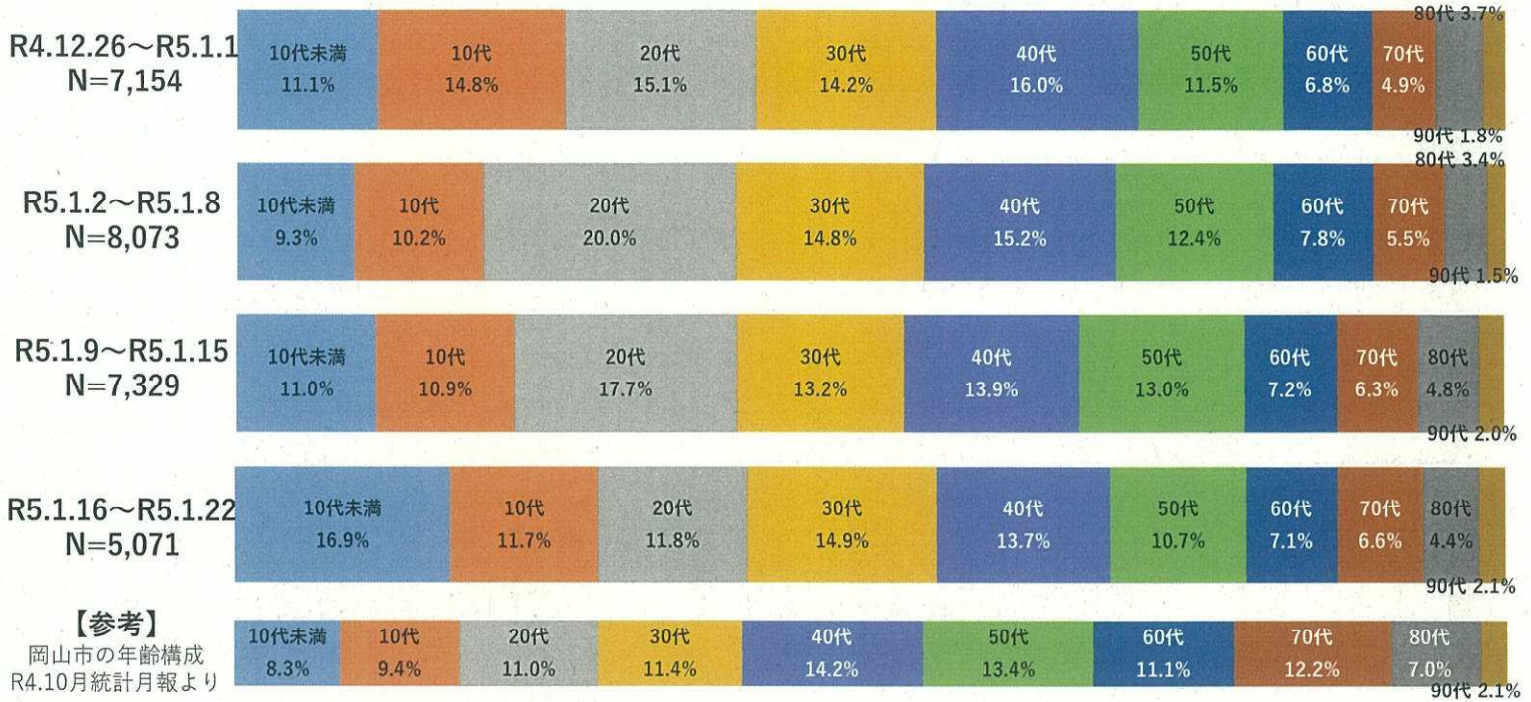
昨年末から増加した感染者は、現在減少傾向にあります。



1週間毎の感染者の年代の比較

※令和4年9月27日以降は、岡山市保健所管内の医療機関からの発生報告数

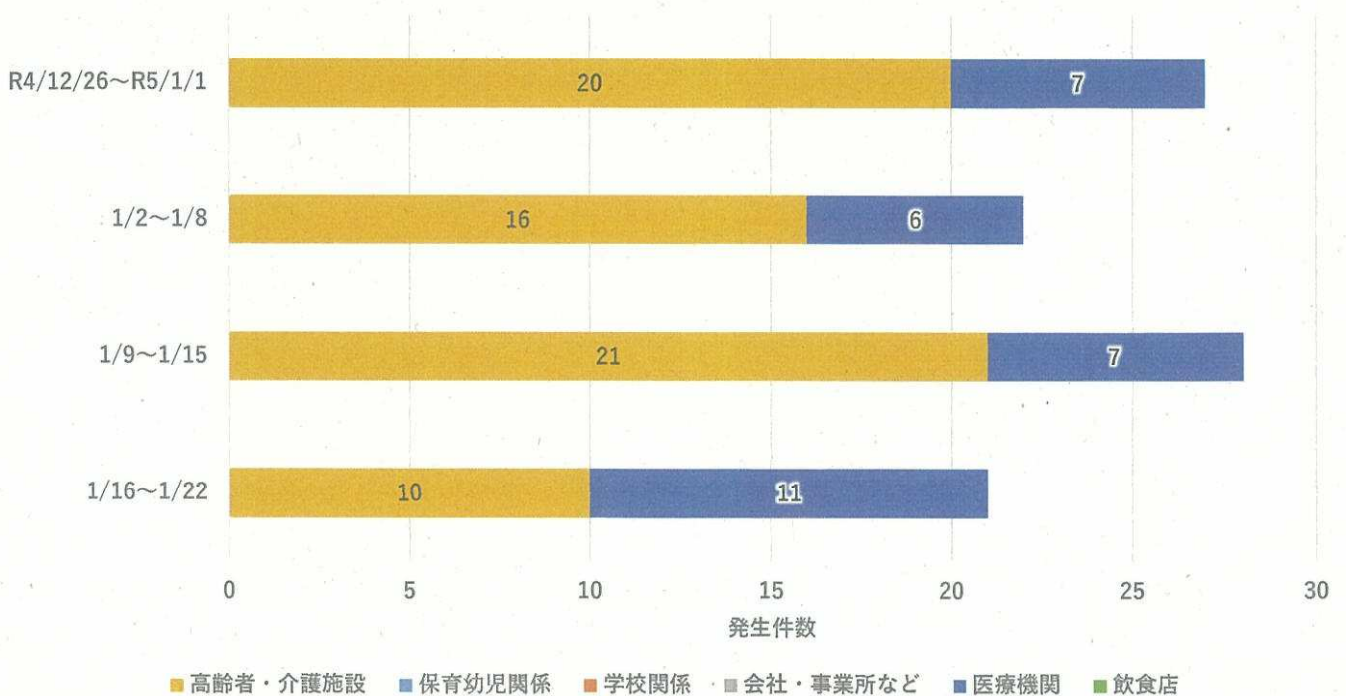
10代未満の割合が増加。一方で20代の割合は減少。



直近1ヶ月のクラスターの発生状況

R5.1.22現在

(岡山市保健所がクラスターとして確認したものに限る。)



医療機関から市民のみなさまへ

●医療機関の現状

年明け以降、朝から発熱外来が予約でいっぱいになり、新たな発熱患者を受け付けることができず、来院をお断りしなければならない状況が続いていた。
今週に入り患者が減少してきており落ち着きつつあるが、変異株の影響によるコロナ感染者の再増加への懸念や季節性インフルの流行期でもあり、引き続き注意が必要。

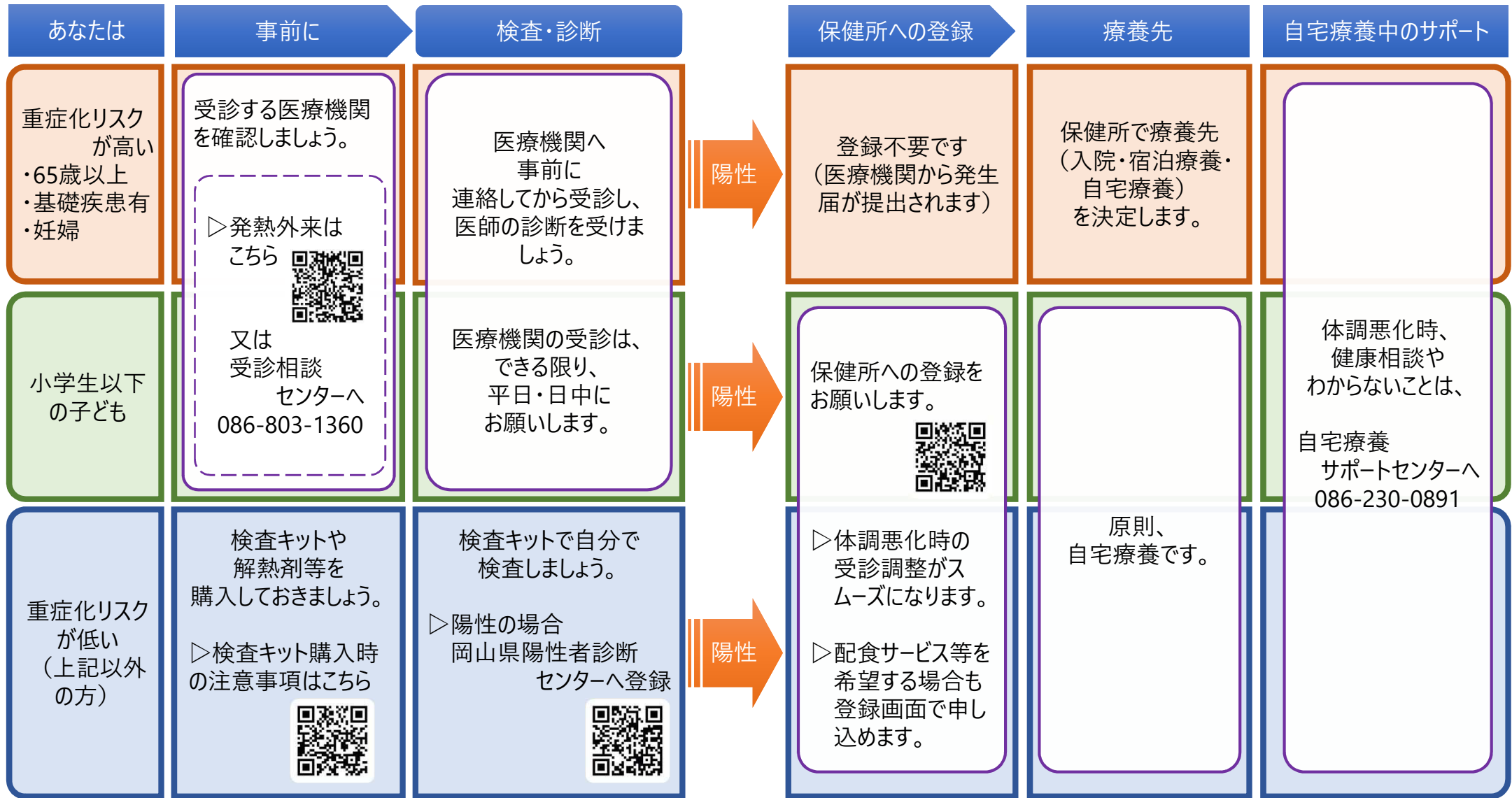
●季節性インフルエンザも含めた日常の感染防止対策

手洗い、うがい、換気が大切。
特に何か食べる前の手洗いと換気が重要。換気をしていれば、一度に多量のウイルスを吸い込む危険は少なくなる。

●受診時のお願い

必ず、事前に医療機関に電話をして、受診方法や受診時間を確認してもらいたい。
医療機関の待合には、高血圧の方など重症化リスクの高い方がいる場合もあり、発熱患者には駐車場で待機してもらおう場合もある。
今後、コロナ感染症の類型が変わったとしても、事前の電話は続けてほしい。

のどの痛みや発熱などの症状が出たら・・・



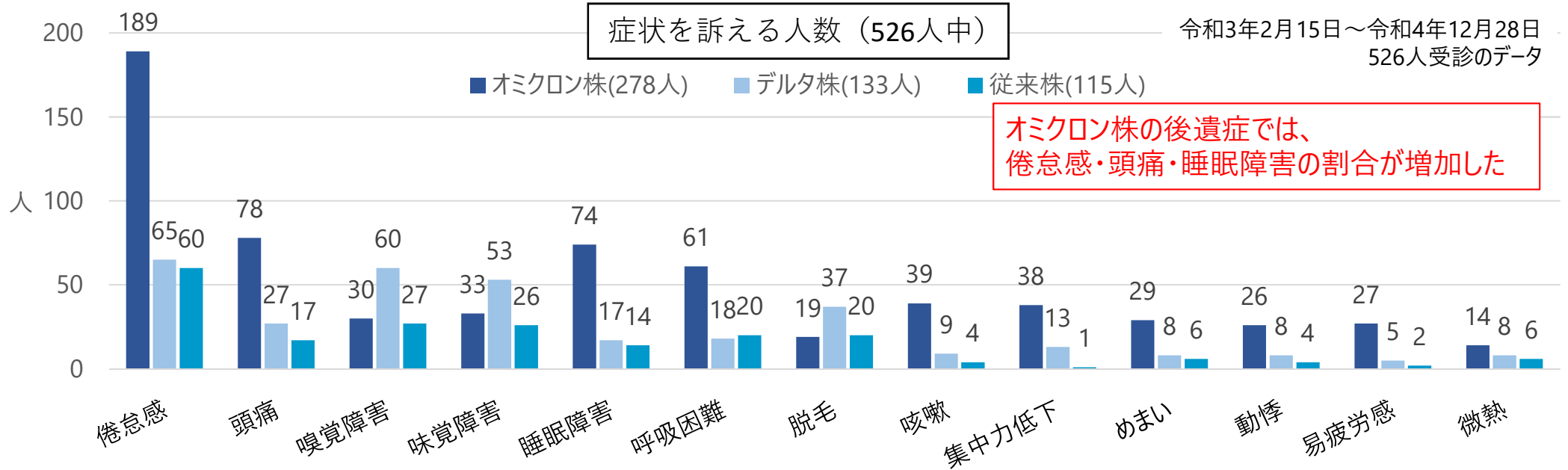
自分で検査して陰性だった方で、症状が重い・不安な場合は
 受診相談センター 086-803-1360 又は医療機関へ相談しましょう
 自宅療養中の方は、自宅療養サポートセンター又は診断した医療機関に相談しましょう。

コロナ後遺症について

新型コロナウイルス感染症にかかった後、一部の方で症状が長引く場合があります（いわゆる後遺症）

主な症状

出典：岡山大学病院「コロナ・アフターケア外来における取組と課題」より一部抜粋



症状が長く続く場合は

ひとりで悩まず、早めにかかりつけ医又はお近くの医療機関で相談しましょう。

※後遺症については、現時点では確立された治療法がないため、症状に応じた対症療法が基本となります。

※後遺症の診療は一般の診療となりますので、診療費等の自己負担が発生します。

症状が長引いたら

- 療養期間終了後も症状が治まらない
- 療養期間終了後、新たに出現した症状が改善しない

早めに受診を

早めにかかりつけ医や、お近くの医療機関で受診しましょう。

1ヵ月経っても改善しないときは

専門外来の予約

かかりつけ医に専門外来（岡山大学病院）の受診について相談しましょう。

専門外来を受診

岡山大学病院
コロナ・アフターケア外来
（総合内科・総合診療科）
※かかりつけ医の紹介状が必要です。

オミクロン株対応ワクチン接種の現状等について

オミクロン株対応ワクチン接種の現状について

- オミクロン株対応ワクチン接種率 1月24日現在 35.7% ※1月24日国公表 全国40.4%、岡山県36.8%
- 65歳以上の方63.9%と比較して、40歳代以下（12歳以上）の接種率23.2%は低調。
⇒**40歳代以下でも重症化することがあり、後遺症が長引くこともあるといわれているので接種は重要**

オミクロン株対応ワクチンの効果と安全性について

○オミクロン株対応ワクチンの効果

- ・重症化予防効果とともに、感染予防効果や発症予防効果も期待される。
- ・今後の変異株に対しても有効である可能性がより高いことが期待される。
- ・**高齢者施設での集団感染は依然多い。重症者は、オミクロン株対応ワクチン未接種の高齢者が多い。**
⇒**高齢者は早期に接種を**

○感染した人は

- ・感染後、治療内容や感染からの期間にかかわらず、体調が回復すればワクチン接種は可能。
⇒**前向きに接種の検討を**

○副反応について

- ・岡山大学の調査によると、モデルナ社オミクロン株対応2価ワクチンの追加接種（4回目接種）後の副反応について、3回目接種後の副反応と比較し、局所反応・全身反応ともに減少した。

今後（令和4年度）の接種場所について ※ワクチン確保済

【個別医療機関】

身近なかかりつけ医など、市内約400の医療機関で接種実施。

【市集団接種会場（2月25日まで）】 ※予約なしでも接種できます

- ・1月30日～2月7日 イオンモール岡山
- ・2月11日～2月25日 クレド岡山（1月31日予約開始）

【参考】新型コロナワクチン接種数について

新型コロナワクチン接種数について

令和5年1月24日時点入力済み数値（保健管理課集計）

年齢区分	対象者数 (人口)		1回目接種	2回目接種	3回目接種	4回目接種	5回目接種	内オミクロン株対応 ワクチン接種者
【高齢者】 65歳以上	188,000人	接種回数	175,477人	174,979人	168,081人	148,845人	104,041人	120,129人
		対人口進捗率	93.3%	93.1%	89.4%	79.2%	55.3%	63.9%
60歳以上65歳未満	39,000人	接種回数	35,608人	35,542人	33,107人	26,036人	12,174人	21,026人
		対人口進捗率	91.3%	91.1%	84.9%	66.8%	31.2%	53.9%
50歳以上60歳未満	92,000人	接種回数	80,261人	80,014人	69,325人	41,646人	8,665人	38,362人
		対人口進捗率	87.2%	87.0%	75.4%	45.3%	9.4%	41.7%
40歳以上50歳未満	102,000人	接種回数	86,849人	86,500人	66,968人	31,161人	5,281人	29,894人
		対人口進捗率	85.1%	84.8%	65.7%	30.6%	5.2%	29.3%
30歳以上40歳未満	81,000人	接種回数	65,954人	65,549人	45,973人	16,847人	2,785人	17,054人
		対人口進捗率	81.4%	80.9%	56.8%	20.8%	3.4%	21.1%
20歳以上30歳未満	77,000人	接種回数	62,451人	61,870人	41,789人	12,859人	1,881人	13,826人
		対人口進捗率	81.1%	80.4%	54.3%	16.7%	2.4%	18.0%
12歳以上20歳未満	53,000人	接種回数	41,502人	41,090人	25,974人	8,091人	90人	11,706人
		対人口進捗率	78.3%	77.5%	49.0%	15.3%	0.2%	22.1%
5歳以上12歳未満	45,000人	接種回数	9,992人	9,340人	2,619人			
		対人口進捗率	22.2%	20.8%	5.8%			
6か月以上5歳未満	25,000人	接種回数	742人	478人	0人			
		対人口進捗率	3.0%	1.9%	0.0%			
合計	705,000人	接種回数	558,836人	555,362人	453,836人	285,485人	134,917人	251,997人
		対人口進捗率	79.3%	78.8%	64.4%	40.5%	19.1%	35.7%

1 接種回数の数値はワクチン接種記録システム（VRS）のデータによる

2 対象者数はR4.1.1時点の住基人口、年齢区分はR4.1.1時点の年齢による。なお、合計人口には、対象外の生後6か月未満は3,000人を含む。